

第4回くらす部会会議録

日 時	2015年10月28日(水) 13:00~15:00
場 所	地域連携交流施設1階 地域活動室
テーマ	1、本日参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内容	<p>1、参加メンバー：16名 幸せな時はいつ、どんな時ですか？</p> <p>2、協議課題</p> <p>○播磨町での短期入所勉強会について</p> <p><b>準備会の報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備会は自立支援協議会と方向性が違うという事で、3回で終了</li> <li>・今後は部会で勉強会を進めていく</li> </ul> <p><b>どんな勉強会にしたいか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の気持ちは？⇒〇〇の時、どこで過ごしたい？</li> <li>・今後、個として、どういう生き方をしていくか考える</li> <li>・地域での活動や行事に参加 本人の経験が増え、社会とのつながりもできる</li> <li>・将来の活動の幅が広がる</li> <li>・日中活動も同時にできれば、活動の幅も広がる</li> <li>・自立のためのステップになる場</li> <li>・本人が利用することで親同士のつながりの場になれば・・・</li> <li>・遠いと行きづらい、身近な場にあれば慣れやすい</li> <li>・住み慣れた町で利用が出来ればいい</li> <li>・地域にとけこめる入所の場（入れられた感を持たせない）</li> <li>・冠婚葬祭は大切なことなので現在使われていない。どんな時に使われているのか。</li> <li>・訓練的な目的での利用</li> <li>・平成30年からの新障害計画の基礎</li> <li>・行政、民間、当事者の役割の明確化</li> <li>・選択肢が多数ある中、優先順位を決める</li> <li>・「短期入所」にテーマを絞ると関心のある人が多くない</li> <li>・当事者や保護者の必要性を伝えて共感してもらい、声をあげることが必要ではないか</li> <li>・地域にある事で知ってもらえる</li> <li>・チラシの配布方法は？</li> </ul> <p><b>進め方について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの参加者と勉強会の参加者の連動性が分からない。当事者の実態をよく知っている事業所に話を聞いてはどうか</li> <li>・ワークショップで意見を出しきる。知らない事を知る事が大切ではないか</li> <li>・ワークショップを開くには、目的を絞らないとまとまらない</li> <li>・テーマを絞るのではなく、「くらす」と大きく捉えて進めた方がいいのではないか</li> <li>・漠然とした勉強会ではなく、自立支援協議会をもとに研究チームを作り検討する。当事者の意見はアンケートなどで集める。その中から課題を決め、専門家から講義形式で学習会を数</li> </ul>

回開き、最終はパネルディスカッションなどを開催し広く周知する。現実に向けて、そこから動いていく。意欲のある人をただ募っても、集まらないのではないか。

- ・参加した人が失望感を抱くような勉強会にしてほしくない
- ・成果を求めるのではなく、主体性を持って学べる勉強会にする必要がある
- ・くらし方の現状を知ってもらう事が必要。社会福祉協議会や行政・事業所などとやり取りしながら進めていってはどうか

#### 結論

- ・くらす部会で「くらし方勉強会」を企画運営し、町民に啓発していく。しかし、企画するまえに、「くらし方」についてどんな課題があるのか今後部会内で検討する

#### ○グループホーム「オリーブの家」見学会について

- ・11月20日 参加者9名予定

#### 3. その他

##### ○そだつ部会：かけはしカフェ

平成28年1月17日（日）10：00～と2月10日（水）10：00～に開催予定

##### ○はたらく部会：はたらく現場見学会（エスコアハーツ）：10月19日 参加者25名

第4回お茶会会議：平成28年2月7日（日）

第2回はたらくみんなのお茶会：平成28年3月6日（日）10：00～11：30

内容：お金について（案）

##### ○推進会議・全体会：第2回推進会議・全体会 平成28年2月26日（金）予定

内容：高齢障害者について（案） 講師：関西福祉大学 谷口泰司准教授

#### 4. 次回開催日の調整

平成27年11月30日（月） 13：30～ 地域連携交流施設にて